

4x56

總會ノ討議 三月十一日ノ決議 第十五條ニ

差ク報告準備ノ期限ニ關スル決定

此ノ間總會ハ「ジュネーヴ」ニ於テ紛争ノ卷ニ
ヲ發行シ奈レルガ下分ナル討議ノ末三月十一日
次ノ決議ヲ採擇セリ

一

總會ハ規約ノ規定ガ今次ノ紛争ニ全部適用セラ
ルベキモノナリ殊ニ次ノ諸點ニ關シ然ルモノナ
ルコトヲ思ヒ

(一) 係約ノ尊重ナル尊重ノ原則
(二) 一切ノ聯盟國ノ領土保全及現在ノ政治的獨
立ヲ尊重シ且外部ノ侵侮ニ對シ之ヲ保護スル
ノ聯盟國ノ爲シタル約定

(三) 聯盟國間ニ發生スルコトアルベキ紛争ヲ平
和的解決方法ニ付スルノ聯盟國ノ義務
當時ノ理事會議長「ブリアン」氏が千九百三
十一年十二月十日ノ英ノ宣言中ニ説明セル原
則ヲ採擇シ

十二理事國ハ千九百三十二年二月十六日ノ日
本政府ニ對スル英ノ長書中ニ再ビ右諸原則ヲ
援用シ「規約」第「十條」ヲ無視シテ行ハレタル聯
盟國ノ領土保全ノ侵害及其ノ政治的獨立ノ殘
害ハ聯盟國ニ依リ有效且實效的ト認メラルル

FILE COPY
RETURN TO ROOM 361

コトヲ待ザルコト「ラ」宣言シタルノ事實ヲ想起シ

聯盟國間ノ目標關係及紛争ノ平和的解決ヲ規律スル原則ニシテ上ニ想起セラレタルモノハ世界ノ平和組織ノ礎石ノ一ヲ爲シ且第二條ニ於テ「一帯約」ハ相互間ニ起ルコトアルベキ一切ノ紛争又ハ紛争ハ其ノ性質又ハ起因ノ如何ヲ問ハズ平和的手段ニ依ルノ外之ガ處理又ハ解決ヲ求メザルコトヲ約スル旨規定スル「一帯約」ト全然調和スルモノナルコトヲ思ヒ總會ニ付託セラレタル紛争解決ノ爲總會ガ終局ニ於テ執ルベキ措置ニ至ル間

上記ノ原則及規定ノ強制的性質ヲ宣明シ且聯盟國ハ聯盟規約及「一帯約」ニ反スル手段ニ依リテ獲得セララルコトアルベキ一切ノ事態、係約又ハ協定ヲ認メザルノ義務アルコトヲ宣言ス

二

總會ハ

日支紛争ノ解決ガ當事國ノ一方ノ武力的壓迫ノ下ニ求メラルベキコトハ規約ノ精神ニ反スルコトヲ確認シ

千九百三十一年九月三十日及同年十二月十日開會

事目ノ協カヲ得テ理事會ニ依リ採擇セラレタル決議ヲ想起ス

確定的停戦及日本宣戦ノ目的ヲ以テ兩管事目ノ協カヲ得テ採擇セラレタル千九百三十二年三月四日ノ總會自身ノ決議ヲモ併セテ想起シ又上海租界ニ於テ特殊ノ利益ヲ有スル租界口が右目的ノ爲有ラユル助カヲ致スノ用意アルコトヲ了承シ此等ノ諸口ニ對シ必要ノ場合ニ於テ撤兵地境内ニ於ケル秩序維持ノ爲協カセンコトヲ請求ス

三

總會ハ

本件紛争ニ對シ日條租界規約第十五條所定ノ手續ヲ適用セントスル旨ノ一月二十九日文部政府ノ爲セル請求ニ應ジ

規約第十五條第九項ニ從ヒ本件ヲ總會ニ付託セントスル旨ノ二月十二日文部政府ノ爲セル請求及二月十九日ノ理事會ノ決定ニ應ジ

總會が文部政府ノ請求ノ主眼タル紛争全般ノ付託ヲ受ケタルコト並ニ規約第十五條第三項所定ノ和協手續及必要ノ場合ニハ同條第四項所定ノ警告ニ關スル手續ヲ適用スルノ義務アルコトヲ思ヒ

十九名ノ委員即チ委員長ヲ擔當スベキ總會議長、

紛争當事國ヲ除ク他ノ理事國及秘密投票ニ依リ選舉セラルベキ他ノ六島盟國ヨリ成ル一委員會ヲ構成スルコトヲ決定ス

總會ノ爲ニ且其ノ監督ノ下ニ職務ヲ行フベキ右委員會ハ次ノ任務ヲ有スベシ

(一) 停戦及右停戦ヲ確定的タラシムベキ且千九百三十二年三月四日ノ總會決議ニ従ヒ日本軍ノ撤收ヲ規律スベキ取極ノ締結ニ關シ能フ限り速ニ報告スルコト

(二) 千九百三十一年九月三十日及十二月十日理事會ニ依リ採擇セラレタル決議ノ實行ヲ注視スルコト

(三) 規約第十五條第三項ニ従ヒ兩當事國ノ合意ヲ以テ紛争解決準備方ニ努力シ且總會ニ説明書ヲ提出スルコト

(四) 必要ノ場合ニハ總會ガ常設國際司法裁判所ニ對シ諮問的意見ヲ求ムルコトヲ提案スルコト

(五) 必要アル場合ニハ規約第十五條第四項所定ノ報告書案ヲ準備スルコト

(六) 必要ト認メラルル一切ノ緊急措置ヲ提案スルコト

(七) 能フ限り速ニ且遅クモ千九百三十二年五月一

目途ニ事終ニ關スル第一回報告書ヲ總會ニ提出
スルコト

總會ハ理事會ニ對シ其ノ有スルコトアルベキ意見
ト共ニ理事會ガ總會ニ移牒スルコトヲ適當ナリト
認ムル資料ヲ右委員會ニ通報セシコトヲ請求ス
總會ハ會期ヲ編修シ且其ノ議長ハ其ノ必長ト認ム
ル場合直ニ之ヲ召集スルコトヲ得」